

令和5年度学校経営の改革方針

| | | | |
|--------|----------|------|-------|
| 学 校 名 | 津市立安東小学校 | 校長名 | 北岡 明直 |
| 児童・生徒数 | 125名 | 学級数 | 9学級 |
| | | 教職員数 | 15名 |

1 「学校教育目標」未来を切り拓く、心豊かでたくましく生きる子どもの育成

○目指す学校像

- ・みんながつながり合い支え合う学校
- ・やる気いっぱい、やさしい学校の学校
- ・安全で安心な信頼できる学校
- ・地域に根差した学校

○めざす子ども像

- ・学び合い励まし合う子
- ・あいさつをする子
- ・自分も友達も大切にする子
- ・最後までやり通す子
- ・健康に気をつける子

○めざす教職員像

- ・学び合い支え合いながら、ともに高まろうとする教職員
- ・子どもの良さを引き出し、ともに寄り添いながら歩む教職員
- ・保護者や地域の方々と連携する教職員

2 現状と課題

素直で伸び伸びとした児童が多く、日常生活においても学年を越えて仲良く遊ぶ姿が見られる。児童は、勤労生産体験学習、昔遊び、登下校の見守りなどで保護者や地域の人々に支えられていることを実感しながら学校生活を送っている。保護者からは、様々な場面を通して、児童が生き生きと活動している様子に一定の理解を得ている。しかし、各学年単学級のため、大勢の中で切磋琢磨する経験が少なく、特に自ら進んで取り組む力が弱いように思われる。北海道上富良野町を開拓した田中常次郎の精神を受け継ぎ、みんなの前でも自分の意見を述べ、自ら進んで行動できるような児童を育成していきたい。

3 重点目標

- (1) 児童が「安東小学校で学ぶことが楽しい」と実感する学習活動を計画的に行う。
- (2) 基礎・基本を大切に、学力向上につながる授業の工夫・改善を進める。
- (3) 全ての教育活動を通して、一人ひとりの存在や思いを大切に、人権感覚にあふれた学年・学校づくりに取り組む。
- (4) 児童と地域の方々が触れ合える機会を大切に、地域に愛着と誇りを持たせる取り組みを進める。
- (5) 保護者や地域と連携し、安心・安全で開かれた学校づくりに取り組む。

4 具体的な行動計画

- 本校の特色である「米作り」の勤労生産学習や防災学習に地域の方々に指導や協力をして頂き、地域と連携した体験活動を実施する。
- 北海道上富良野西小学校との交流を進め、互いの児童の心に残るものにしていく。(今年度は上富良野西小学校からの6年ぶりの訪問)
- さまざまな人権課題について正しい理解と認識を持ち、自分も仲間も大切に人権・道徳教育を進める。
- 自信を持って生き生きと活動できる自己肯定感の高い児童の育成を目指し、発表の場として「安東フェスティバル」の開催や児童会・委員会活動の活性化など、全教育活動を通して取り組む。
- 教師全員が年1回研究授業を行う。またICT等を効果的に活用した授業について、さらに研修を深める。
- 日頃から児童の実態や指導上の問題等の情報交換を行い、全職員が理解し、指導にあたる。
- 児童や保護者に対してホームページや学校・学年だより等を活用しながら積極的な情報発信を行う。また授業参観等による学校公開を実施し、開かれた学校づくりを推進する。
- 学校運営協議会を開催し、地域と協働した学校運営を進める。本年度、地域コーディネーターと緩やかなネットワークの組織作りを進める。学校設備のトイレ(ウオシュレット)の改修についてさらに進める。
- 行事の取り組みについては、毎月の振り返りを行うとともに、2学期末には保護者・児童・教職員にもアンケートを実施し、学校評価を学校運営に活かす。
- 総勤務時間縮減の取り組みとして、時間外労働時間月45時間超の人0、一人当たりの有給休暇取得日数前年度比1日増を目指す。また、定時退校日の月2回設定や定時に退校できる職員の割合85%、60分以内の会議の割合85%を目指す。